

ウサビ収穫 「産業まつり編 その1」

ウサビ収穫 「産業まつり編 その1」

今年もまたこの季節がやってきました…

毎年 11 月の第 3 土曜、日曜は、朝日町の産業が一同にあつまるといって大イベントがあります。

その名も「産業まつり」です。



これです

今回で第 32 回を迎えるというこのまつり。

中の人々の年齢を上回る開催回数を誇ります。

しかも、同時に、「りんごまつり」と「米まつり」という祭まで同時開催する、

もはや、とにかく何でもまつり！！という朝日町のテンションが反映されたようなおまつりです。

そんな祭の会場、朝の9時

ウサビ「おはようございます。朝日町のステキさを体現する桃色ウサビです」



のこのことやってきたいつもの着ぐるみ

しかし、いつもと多少反応が違う…

ウサビ「ウサビがきたよ～、ふわふわだよ！！」



必至にアピールするも、なんだか大人たちが見向きもしてくれない…

それもそのはず

会場の様子



みんな買うので一生懸命

ウサヒ 「みんな買い物に夢中すぎる！！」

そうなのです。

産業まつりの大きな特徴は、芸能鑑賞系のイベントがいっさい存在しない

「買い物に特化したまつり」なのです。

開会の9時と同時に、町民体育館にはお買い得な家具や、

品評会上位のりんごを目指しお客様が駆け込み、

もはやその様相は・・・

ウサヒ 「せ、戦場だ・・・着ぐるみが入る隙間もねえ・・・」

むしろ、幅を取る着ぐるみは通路の邪魔

しかたないので隅っこにある観光協会のブースのところで

おとなしくしていることにしました。



開始直後はみんな買い物に夢中で、観光協会のブースも暇

しばらくすると…

こどもたち「あーウサビいるじゃん！！」

ウサビ「(ようやく気づいてくれたか…)」

設定上、みんなの前では喋れないので()内は心の声です。

こどもたち「なんかしゃべれよー！」

こどもたち「おい、中に人はいってるんだろ！！」



当たり前のことだが、中には、中の人が入っているよ

こどもたち「背中チャック開けようぜ」

ウサビ「(ちょ、それはやめろ!!)」

こどもたち「あけちゃえ!!」



着ぐるみのチャックを開けるのは反則です

ウサビ「ちょ、やめて！！だれか！！大人の人助けてえええ！！」

大人の人たちの現状



ウサビ「大人たちは買い物に夢中・・・だと・・・」

開始直後はそんな感じでぼろぼろのウサビでした。



お願いだから着ぐるみはやさしく扱ってね・・・

しかし、祭は始まったばかりです。

気を取り直して向かったのがこちら・・・



もちまき会場です



産業振興課のワタナベさんにエスコートされ登場

昨年、もちまきのタイミングがつかめず、失敗も多かったのですが、

今年はキャリア2年目。勝手はわかっています。

朝日町のもちまきは、カウントダウンとか、盛り上げコールは一切ない。

和やかな雰囲気の中いきなり投げるというのが例年の慣わしです。

(ここ重要)

司会の方が投げて良いですよ～的なことを口にした瞬間から、

各自が適当に投げ始めるので、キャッチする人は気持ちの準備が必要です。

頭の位置を微調整しながら、開始を待つウサビ。



視界の関係で、下で待つお客様が見えにくいので、投げる前に大体の位置を把握します。

そして、いつもどおり「はい、投げましょうね～」的な合図でスタート。

大きく振りかぶって！！



投げる！！



朝日町フェニックス(野球チーム)のマスコットの名は伊達じゃない！！

ウサビ 「あっちに投げるよー」



ウサビ 「と、見せかけてからの、こっちに投げる。」



「あの着ぐるみいちいちイラッとするフェイントとかを入れてくる。」(参加者談)

もちをまきまくって満足げなウサヒ。



「来年は、「もちまき神」としてやっていくのも悪くないなあ」(本人談)

そんなこんなで大好評のもちまきでした。



もちまきは2日で4回。全1200個のもちを投げたそうです

さて、もちまきを終えたウサヒは、再び会場に戻ることにしたのですが、

中の方は大事な仕事をするため、

役場近くの料亭「牡丹」にいました…

何をしていたのかというと…

これの製造です



次回、朝日町のお弁当が登場！果たして味は？売れ行きは？？

産業まつり編その2へ続く！！